

心のやさしさ

目は心橋をあらわすと いわれていゝが

本当にそうだとすかしく 気づかない

そのようなひとりにあうこと ~~ほ~~ ~~す~~ ~~か~~ ~~い~~ ~~は~~ ~~い~~ ~~は~~

人と接する時 補せ 目を足版といわれたり

する木 目を甲心に考えることはあまうり

左い

さうんと立つ姿は たしが手や足末石印だが

しわたなくよい姿勢をして 心印他を

まいていゝことがあゝ

皆一表親印だ

外側の親印 内側の親印 可なりと思つていゝが

外側 内側 ~~は~~ ~~あ~~ ~~い~~ ~~だ~~ ~~か~~ ~~い~~ ~~な~~ ~~い~~

もうひとつ 心の橋をあらうすかひとみだ

その疎密のこと 気づかずに生きて来た

すずしげな心 ^り 大き層目は か り 氣に

しこい ~~か~~ ~~ま~~ ~~し~~ ~~か~~ ~~い~~

たしか目の大きいはりだつたりする

ほそい人だつていゝ

ほそくて 心 の 思 ひ が や さ し こ が

ひとみ いっぱいに
あふれていふ時

やさしさを
左側さへよ

だれにも親印
と思つても
正つかしい

まして心か
くのやさしさは
より一層
まつか

しり

それと
気がいい
ことばかり
一歩だ

少し
じも
自分の心の
状態を
示りかえり

人との
接する時
今一度
自分の心を
みつめよう

やとり
ゆりとも
うたい

2022
2/18